

や、た、た、た!

この場所でおもしろいことを。

日本は世界トップシェアを誇る産業用ロボット大国。そのロボットの頭脳に当たるソフトウェアを開発するベンチャー企業が「リンクウイズ」だ。常に新しい環境に身を置き、チャレンジすることが好きだと語る社長の吹野さん。浜松を拠点に、「人に寄り添うロボット」を世界のものづくり現場に提供しようと挑戦し続ける。

人に寄り添うロボットでものづくりの世界を変える

僕

は天竜区の山村、旧龍山村の出身。だから、浜松南高在学中は浜松城公園の近くで一人暮らしをしていました。吹奏楽部の練習と遊びと家事炊事で毎日忙しくて、当時はあまり勉強しませんでしたね。部屋に独りでいた記憶もないなあ。クラスのやつがなぜかうちの鍵を持っていて、帰ってくるという……みたいな(笑)。将来のこともあまり考えていなかったです。

卒業後は東京の大学に進学し、カナダにも留学しましたが、結局地元に戻ることになりました。実は、実家は飲食店を経営していて両親が忙しかったので、僕ら兄弟3人の面倒は祖父が見てくれたんです。でも、留学中に祖父が亡くなって死に目に会えなかった。僕はそれがすごく悲しかったので、できるだけ祖母の近くで働こうと思い、地元の電子機器メーカーに就職しまし

た。その後、カリフォルニアの玩具メーカーや浜松のソフトウェア企業で働いた後、仲間と3人で起業しました。

ロボット制御ソフトで起業

僕たちは、ものづくり現場に「人に寄り添うロボット」を提供しようと、産業用ロボットの頭脳に当たる部分を開発しています。ロボットって、基本的には同じ動きを繰り返す能力しかないんですよ。でも、人と同じように物を認識し、それに応じて動きを変えられるようになったら、もっと便利ですよ。そういうわけで、ロボットのチームの先にセンサーを付けて物を認識させ、状況に合った作業や検査ができるソフトウェアを開発しました。

日本はこの先5年間で約500万人が退職するんですよ。だから、これからはロボットがなければ成り立たない世の中になるんじゃないかな。人が苦

手な仕事はロボットに任せて、アイデアの要る仕事は人がやる、みたいな環境が理想的ですよ。

海外から日本へUターン 浜松を拠点に世界へ進出

浜松は人が優しいまちですね。僕が起業したときにも知り合いの会社の皆さんがいろいろサポートしてくれました。それに、都市環境と自然環境のバランスがいいので、仕事の本拠地には最適だと思います。

これから起業する人は、僕にとっても浜松みたいに、住み慣れた場所だとか、環境のいい場所から世界にチャレンジしてほしいですね。だって、世界を相手にビジネスをするなら、日本どこに本拠地があっても関係ないでしょ。逆に、東京じゃなきゃダメとか、そういう小さいことは言っちゃいけないですね。



リンクウイズ株式会社

代表取締役
吹野 豪 さん
ふきのごう



【やっていること】インテリジェントロボットシステムソフトウェアの開発・販売、技術コンサルティング

■1982年生まれ ■天竜区龍山町出身 ■浜松南高校卒 ■東京の大学に在学中、カナダに留学。帰国し卒業後、東京にある工業系のソフトウェア会社に4カ月間勤務し、2006年に浜松市のパルステック工業株式会社に転職。3次元カメラや3次元スキャナーの製作を担当。2008年に取引先の玩具メーカーにスカウトされ転職、渡米。2012年に帰国し、株式会社アメリオで取締役を務めた後、2015年にリンクウイズ株式会社を設立。同年、経済産業省のグローバル起業家等育成プログラムに選抜されシリコンバレーに派遣された。企業理念は「徳をもって事業の基となす」



日本の中で浜松がどうか東京じゃなきゃとか、世界から見たら大して違わない。そんな小さいこと言うなよ、ピ。



古い倉庫をリノベーションしたオフィスは斬新でスタイリッシュ。倉庫の中にコンテナを組み合わせて仕事場やコミュニティスペースを設けている。工作設備を使ってソフトの実装実験を行うコーナーも。大学生やビジネスマンが自由に立ち寄れるオープンな工房にもなっている。中央にはキッチンがあり、スタッフはもちろん利用者が自分たちで食事を作ることもできる

message



日本の中で浜松がどうか東京じゃなきゃとか、世界から見たら大して違わない。そんな小さいこと言うなよ、ピ。

